

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア	イ
【見方・考え方】見通しを持って観察・実験を行い、結果を科学的に探求することができる。	【対話的な深い学び】観察・実験の結果を考察し、小グループやクラスで対話を通じて、理解を深めるとともに、思考力・表現力を身に付けさせる。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験や観察・実験を通して、自分から学びに向かう習慣が付けられない。ア</li> <li>・見通しをもって観察・実験を行えない。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な例を通して、興味関心を引き出し観察や実験を通して知識の習得を図る。ア</li> <li>・実験の目的や手順を可視化し、考えながら観察・実験に取り組めるようにする。イ</li> </ul>	5月頃から	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得た知識を活用できない。他</li> <li>・観察や実験に見通しをもって取り組めないため、課題や仮説を設定できない。ア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの知識を観察や実験から主体的に習得できるよう、その機会を多くとる。他</li> <li>・実験の目的を明確にし、ゴールを設定する。ア</li> </ul>	5月頃から 小単元ごとに	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験の結果を正確に把握し、その結果の意味していることを考えられない。ア</li> <li>・結果から科学的な法則を見い出すことに苦手意識をもつ生徒が多い。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動とその内容を発表することで、その内容に対する理解を深め、科学的に考える機会を設ける。ア</li> <li>・意欲が高まるよう映像を取り入れた、導入を工夫する。イ</li> </ul>	重点項目ごとに	

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>1年生：班活動を取り入れ、ディスカッションを通して学べる環境。</p> <p>2年生：観察や実験では班活動を取り入れ、クラスで意見交換する。</p> <p>3年生：適宜で班活動を取り入れ、意見交換ができる環境を設ける。</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>1年生：授業の振り返りと重点項目の確認</p> <p>2年生：授業の振り返りと重点項目の確認、定着確認課題</p> <p>3年生：授業の振り返りと重点項目の確認、定着確認課題</p>
---	---